

新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査

令和2年
12月時点

- ◆ 調査対象：全国の国公私立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- ◆ 調査期間：令和3年1月18日～（2月10日時点：回答率95.3%）
- ◆ 調査趣旨：各大学等における経済的に困難な学生に対する支援状況や中途退学者・休学者の状況等について調査

○令和2年10月末時点の調査に引き続き、各大学等において後期分の授業料の納付猶予や、国の制度によらない独自の授業料等減免を実施。

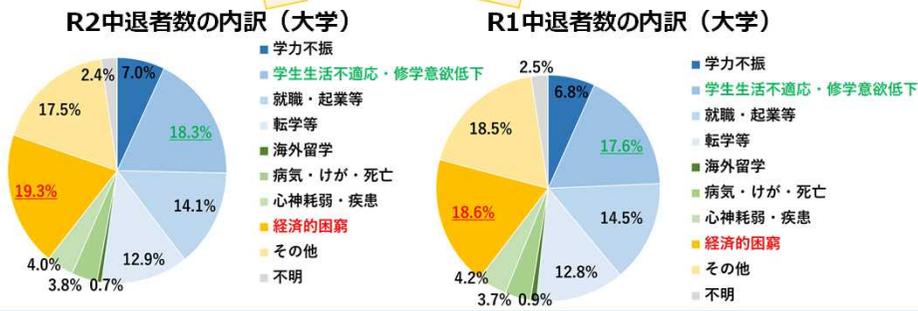
- ・全体の98.5%の大学等において、後期分の授業料の納付猶予を実施（授業料の未納者がいない場合も含む）。
- ・大学等の学生総数に占める後期授業料の納付猶予者数の割合は、7.04%（昨年度5.20%）。
- ・全体の74.0%の大学等において、経済的に困難な学生を対象とした各大学等による授業料等減免を実施。

中途退学者の状況（4月～12月の状況を比較）

- 学生数に占める4月～12月の中退者数の割合は、令和元年度に比べて令和2年度の方がやや少ない。
- 中退の最も中心的な理由は、令和2年度と令和元年度で概ね同様の傾向。主なものは、経済的困窮（19.3%）、学生生活不適応・修学意欲低下（18.3%）など。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R2 (4月～12月)	R1 (4月～12月)	R2 (4月～12月)	R1 (4月～12月)
中退者数	28,647人 (1,367人)	36,016人	5,186人 (470人)	7,096人
学生数に占める 中退者数の割合	0.97% (0.05%)	1.22%	0.76% (0.07%)	1.02%

※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合

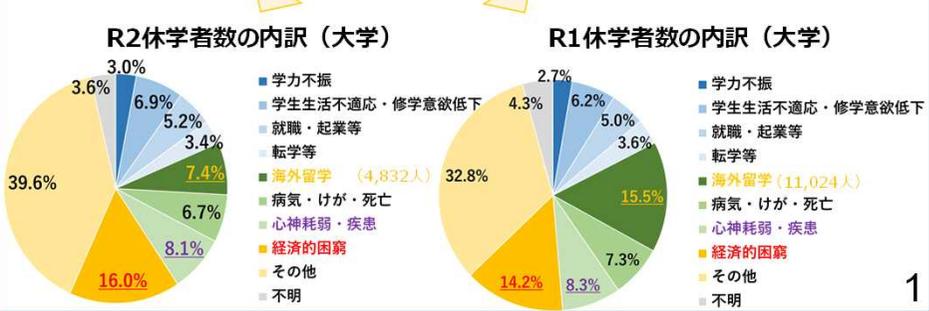


休学者の状況（4月～12月の状況を比較）

- 学生数に占める4月～12月の休学者数の割合は、令和2年度と令和元年度で、大きな変化は無い。
- 休学の最も中心的な理由は、令和2年度に比べ海外留学が大きく減少している。主なものは、経済的困窮（16.0%）、心身耗弱・疾患（8.1%）など。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R2 (4月～12月)	R1 (4月～12月)	R2 (4月～12月)	R1 (4月～12月)
休学者数	65,670人 (4,434人)	71,287人	6,440人 (859人)	6,020人
学生数に占める 休学者数の割合	2.23% (0.15%)	2.42%	0.95% (0.13%)	0.88%

※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合



→ 年度末に向けて中退・休学者が増加することも考えられることから、引き続き状況を注視するとともに、大学等と連携して学生へのきめ細かな支援を継続して実施。

新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査②

止むを得ず退学した者で、再入学を希望する者への柔軟な対応等の事例

- 様々な事情から退学を希望する学生については、従前より、多くの大学で学内規定に基づいて再入学を認める措置がとられている。
- 今般の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえて、退学や再入学を希望する者に対し、相談体制、経済的配慮、再入学の審査に係る対応、教学上の対応等について以下のような取組が行われている。

(具体的な支援内容の例)

●相談体制

- ✓ 学生指導等にあたる担任・チューター制を取り入れており、退学や除籍の際には、再入学について事前に伝えている。後に再入学を希望する場合には、再入学後のカリキュラムや単位履修計画、奨学金の相談に応じている。
- ✓ 教員によるアドバイザー制を導入しており、学生の状況により休学・退学等のアドバイスとともに再入学制度について説明を行っている。
- ✓ 学内の様々な部署と連携を行う総合窓口の開設。

●経済的配慮

- ✓ 新型コロナウイルス感染症に係る昨今の経済状況に鑑み、再入学金を減免又は免除している。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響により中途退学せざるを得ない学生に対し、授業料減免を行った。

●再入学の審査に係る対応

- ✓ 経済状況の変化や病気治療等のため退学した学生が再入学を希望する場合、筆記試験等は実施せず在学中の成績等による書類審査と面接により選考。

●教学上の対応

- ✓ 再入学者に対しては、退学前に取得していた単位は再入学後も有効としている。
- ✓ 1年以上在学し退学した学生が、再入学を願い出た時は、相当年次に再入学を認めている。

●その他

- ✓ 再入学は学内規程に基づいて運用しているものの、規程外でやむを得ない事情と判断した場合は、別途学内決裁をとり、個別対応している。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響により退学をする学生については、退学願いを受理する際に、再入学の手続きについて詳細を説明している。